



ピストンキット (53.5) 取扱説明書

商品番号 : 01 - 02 0006

適応車種およびフレーム番号

スーパーカブ110 : JA07 - 1000001 ~

: JA10 - 1000001 ~

クロスカブ : JA10 4000001 ~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

特 徴

ノーマルシリンダーヘッドを使用し、ノーマルシリンダーをボーリング加工してボアアップするピストンキットです。

ピストン径を 50mmから 53.5mmにボアアップし排気量を125ccに、圧縮比を9.0:1から12.5:1にアップさせます。

16ccと小排気量アップながらハイコンプ化させることで力強いトルクが感じられます。

弊社製カムシャフトや、エキゾーストマフラーとの組み合わせにより更なるパワーアップが望めます。

正しく安全にご使用頂く為に

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

このキットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ F.I. コントローラーについての注意 ▲

このキットのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ずF.I. コントローラーを取り付け、燃料増量補正を行って下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

- ・取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ・当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ・当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ・他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ・当製品は、上記適合車種の専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ・当製品の取り付けには上記適合車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ・取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ・必ず慣らし運転を行って下さい。
- ・当製品を取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には不向きです。
- ・ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ・当製品を使用するには、ノーマルシリンダーのボーリング加工が必要となります。加工は、内然機専門店又は、最寄りのバイクショップ及び弊社宛にご相談下さい。
- ・弊社に加工を依頼される場合、当製品のピストンもご同封の上お送り下さい。

注意 この内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)
- シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告

この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

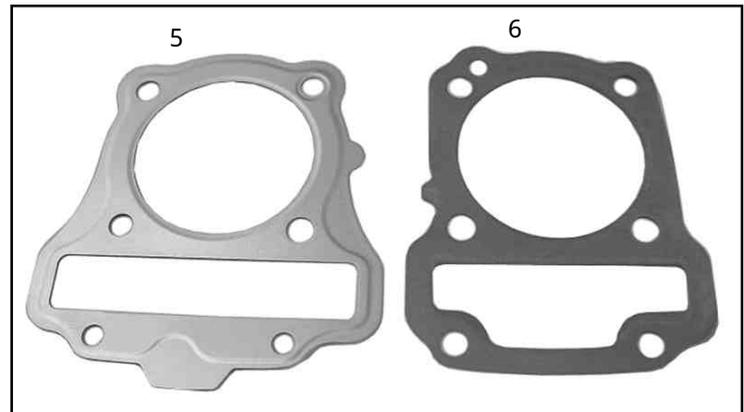
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～ 商 品 内 容 ～

0 1 1 3 0 1 1 4



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン 53.5mm	1	00 01 0180 (ピストンピン付)	1
2	ピストンリングセット	1	01 15 016	1
3	ピストンピン 13	1	00 01 0091 (サークリップ付)	1
4	ピストンピンサークリップ 13	2	00 - 01 - 0003	6
5	シリンダーヘッドガスケット	1	_____	△
6	シリンダーガスケット	1	_____	△

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

～ 取 り 付 け 要 領 ～

・水平な場所でセンタースタンドを立て、車両をしっかりと安定させる。

外装部品の取り外し

・ホンダ純正サービスマニュアルを参考にしてカバー類を取り外す。

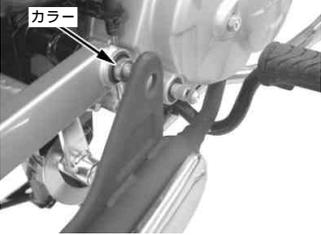
(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り外し

エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従うこと。

・エキゾーストパイプ部のナット2個を取り外す。

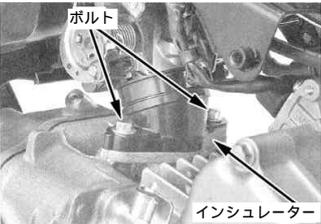


・リアアクスルスリーブナットを外し、STDマフラー及びカラーを取り外す。

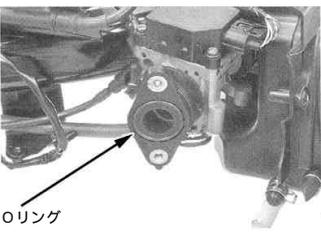


インシュレーターの取り外し

・ボルト2本を取り外し、シリンダーヘッドからインシュレーターを外す。



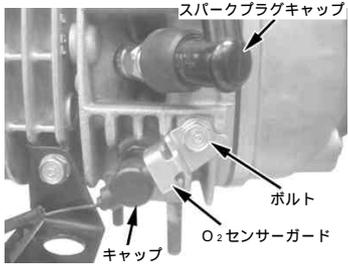
・インシュレーターのOリングを取り外しておく。



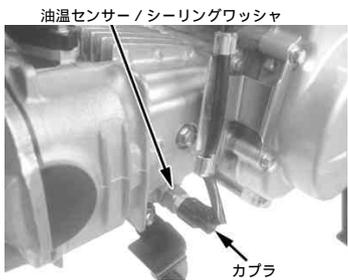
Oリング

シリンダーヘッドの取り外し

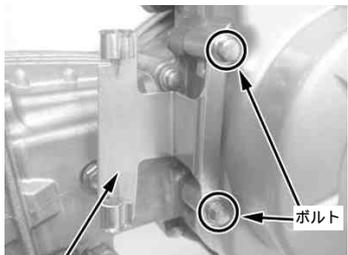
・ボルトを取り外し、シリンダーヘッドのO₂センサーガードを取り外す。O₂センサーのキャップを取り外す。スパークプラグキャップを取り外す。O₂センサーは衝撃に弱いため取り扱いに注意。落としたり衝撃を与えた場合は新品に交換する事。



・シリンダーの油温センサーのカブラの配線を外す。油温センサー及びシーリングワッシャを取り外す。

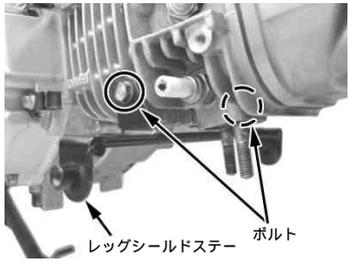


・ボルト2本を取り外し、ワイヤーステーを取り外す。(JA07の場合)

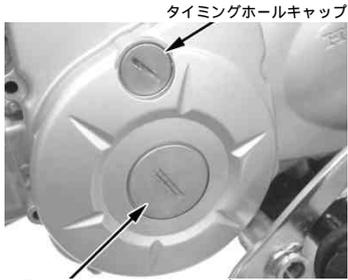


ワイヤーステー

・ボルト2本を取り外し、レッグシールドステーを取り外す。



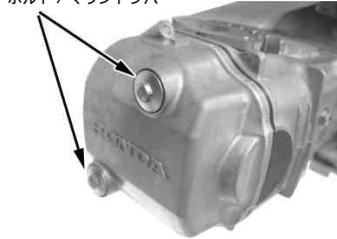
・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップを取り外す。



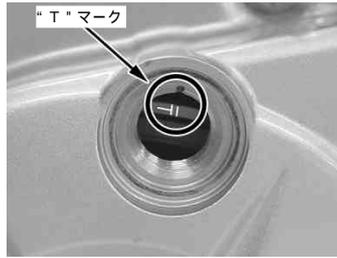
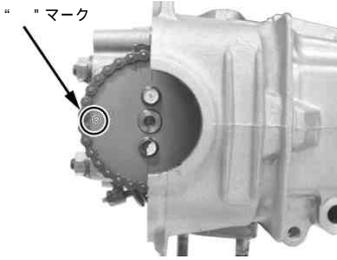
クランクシャフトホールキャップ

・ヘッドカバーのボルト/マウントラバー2箇所を取り外し、ヘッドカバー/ガスケットを取り外す。

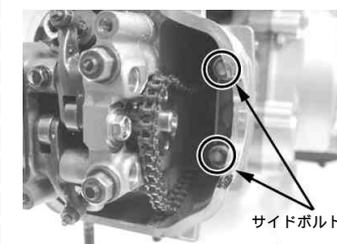
ボルト/マウントラバー



・クランクシャフトを反時計方向に回し、カムスプロケットの" "マークが前方を向いている状態で、フライホイールの" T "マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせる。カムスプロケットのボルト2本を取り外し、カムスプロケットを取り外す。



・シリンダーのガイドローラーボルトを緩めておく。シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り外す。

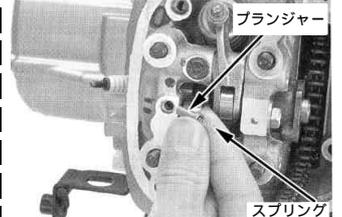
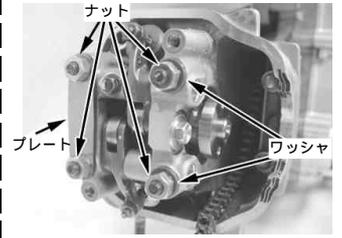


ガイドローラーボルト



サイドボルト

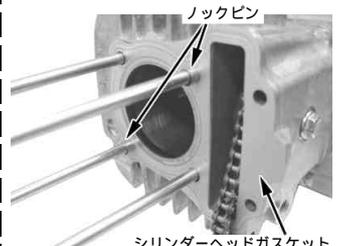
・シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて緩め、シリンダーヘッドナットと共にプレートとワッシャ2個を取り外す。プレートを取り外すとスプリングが飛び出すので注意し、スプリングと共にプランジャーを取り外しておく。



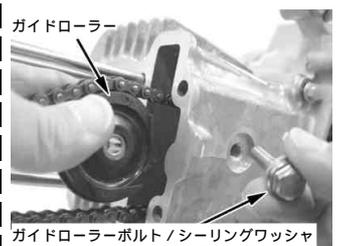
・シリンダーヘッドを取り外す。

シリンダー、ピストンの取り外し

・シリンダーヘッドガスケットとノックピン2個を取り外す。



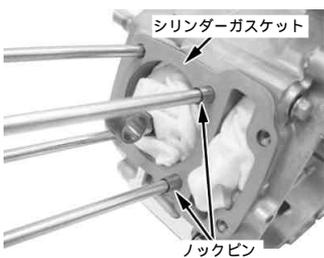
・シリンダーのガイドローラーボルト/シーリングワッシャを取り外し、ガイドローラーを取り外す。



・シリンダーを取り外す。ピストンピンサークリップの片側を外し、ピストンピンを外し、ピストンを取り外す。



・シリンダーガスケットとノックピン2個を取り外す。クランクケースにシリンダーガスケットがごびり付いている場合はスクレイパーにて剥がす。

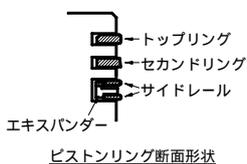
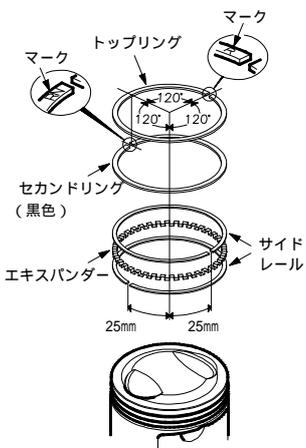


シリンダーの加工

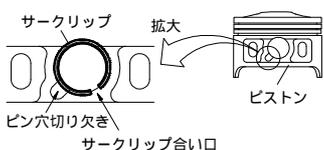
・キット内のピストンに対し、クリアランスが3/100になるようにノーマルシリンダーのボーリング加工を行う。加工は内然機専門店又は、最寄りのバイクショップ及び弊社宛にご相談下さい。弊社にシリンダーボーリング加工をご依頼される場合は、別紙シリンダーボーリング加工依頼書にご記入の上、弊社までお送り下さい。

ピストンの取り付け

・ピストンリング溝をエアブローし、ピストンリングを取り付ける。2NDリング及びTOPリングは文字が入っている面を上にして取り付ける。ピストン及びピストンリングを傷つけない、破損させない事。取り付け後、リングがなめらかに回転する事を確認する事。リングの合口は、図のように120度間隔で取り付ける事。



・片側のピストンピン穴のサークリップ溝にサークリップを取り付ける。ピストンピンサークリップの合口は切り欠き部を避けて取り付ける。



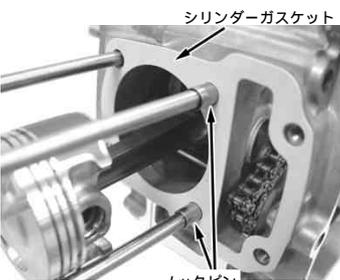
・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布し、ピストンピンにモリブデングリスを塗布し、ピストン頭部にある"IN"マークをインテーク側に向け、ピストンピンを取り付ける。



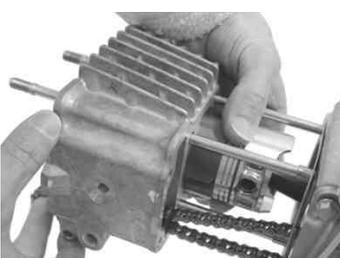
・ピストンピンサークリップ溝にピストンピンサークリップを取り付ける。

シリンダーの取り付け

・クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃し、クランクケースにノックピン2個とキット内の新品のシリンダーガスケットを取り付ける。



・ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。



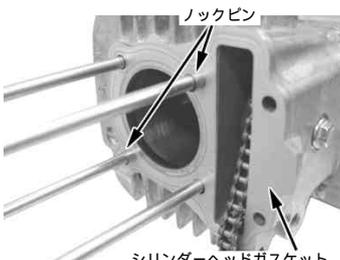
・ガイドローラーをシリンダーの取付け穴に合わせ、ガイドローラーボルト/シーリングワッシャを仮止めしておく。



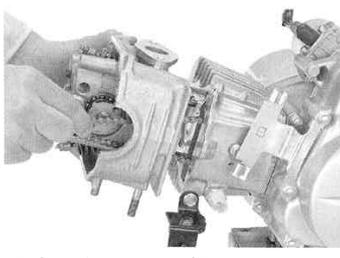
ガイドローラーボルト/シーリングワッシャ

シリンダーヘッドの取り付け

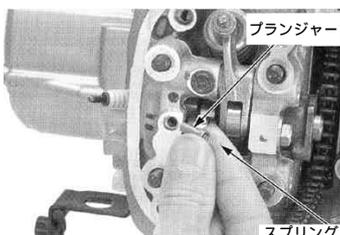
・シリンダー上面を清掃する。ノックピン、キット内のシリンダーヘッドガスケットを取り付ける。



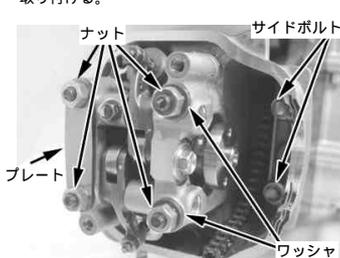
・カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける



・スプリングを取り付けたプランジャーをシリンダーヘッドに取り付ける。



・プレート、ワッシャ2個、シリンダーヘッドナット4個、シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り付ける。



・シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1.3 N・m (1.3 kgf・m)

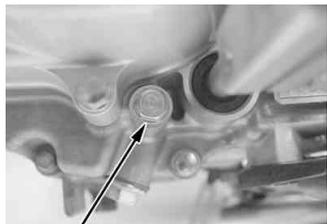
・シリンダーヘッドのサイドボルト2本を交互に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1.0 N・m (1.0 kgf・m)

・仮止めしていたシリンダーのガイドローラーボルトを規定トルクにて締め付ける。

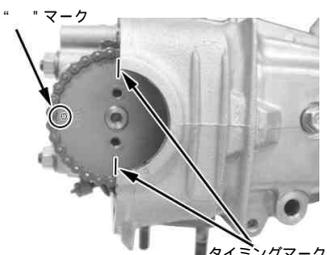
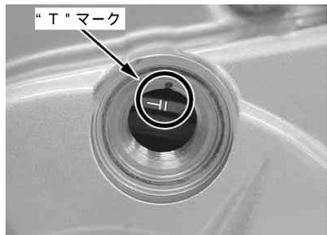
△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1.0 N・m (1.0 kgf・m)

・オイルフィルボルトとシーリングワッシャを取り外す。



オイルフィルボルト/シーリングワッシャ

・フライホイールの"T"マークがクラッチカバーの合わせマークに合っているか確認し、" "マークを前方に向け、タイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合うようにカムスプロケットをカムチェーンに付け、カムシャフトに取り付ける。



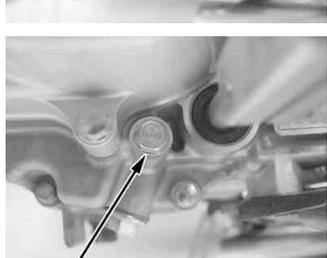
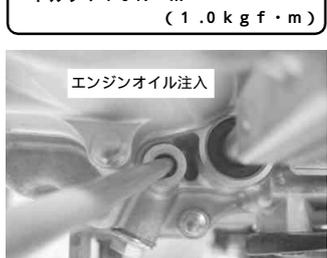
・カムスプロケットのボルト2本を取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：8 N・m (0.8 kgf・m)

・クランクシャフトを反時計方向に回し、フライホイールの"T"マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせ、カムスプロケットのタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っていることを確認する。

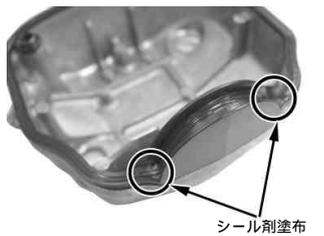
・ボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、オイルフィルボルトとシーリングワッシャを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1.0 N・m (1.0 kgf・m)



オイルフィルボルト/シーリングワッシャ

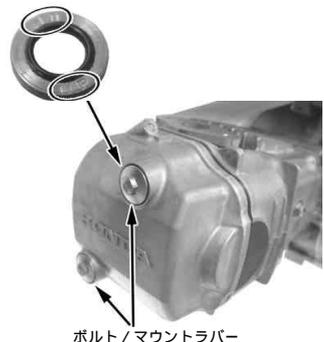
・ヘッドカバーにガスケットを取り付け、ガスケットの画像に記す隅部分にシール剤を塗布する。
シール剤：スリーボンド5211C又は相当品



シール剤塗布

・ヘッドカバー / ガスケットをヘッドカバーのボルト / マウントラバー 2箇所にて取り付け、規定トルクにて締め付ける。
マウントラバーは“UP”マークを上に向けて取付ける事。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m
(1.0 kgf・m)

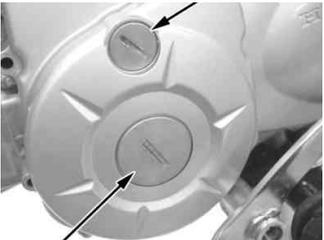


ボルト / マウントラバー

・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップにOリングが付いてある事を確認して取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
タイミングホールキャップ
：6 N・m (0.6 kgf・m)
クランクシャフトホールキャップ
：8 N・m (0.8 kgf・m)

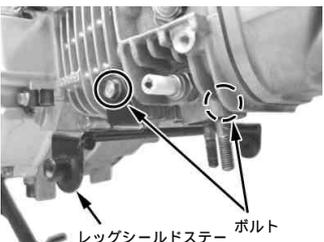
タイミングホールキャップ / Oリング



クランクシャフトホールキャップ / Oリング

・レッグシールドステーをボルト2本で取り付け、規定トルクにて締め付ける。

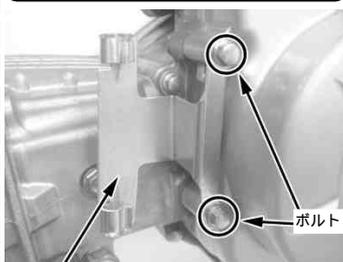
△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m
(1.2 kgf・m)



レッグシールドステー ボルト

・ワイヤーステーをボルト2本で取り付け、規定トルクにて締め付ける。(J A 07の場合)

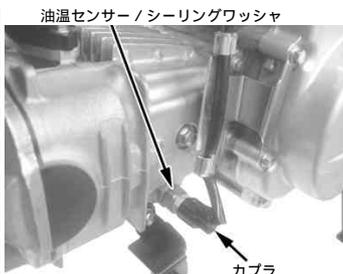
△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



ワイヤーステー

・油温センサー及びシーリングワッシャをシリンダーに取り付け、規定トルクにて締め付ける。油温センサーのカブラの配線を接続する。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：14 N・m (1.4 kgf・m)

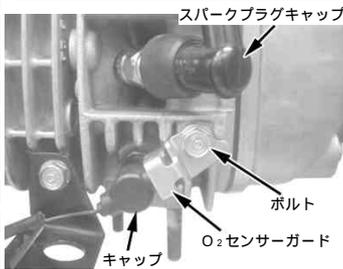


油温センサー / シーリングワッシャ

カブラ

・O₂センサーのキャップをまっすぐに接続する。O₂センサーガード、ボルトをシリンダーヘッドに取り付け、規定トルクにて締め付ける。スパークプラグキャップを取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)



スパークプラグキャップ

ボルト

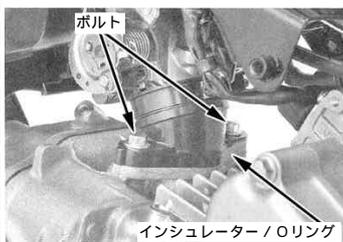
O₂センサーガード

キャップ

インシュレーターの取り付け

・Oリングをインシュレーターに取り付け、ボルト2本とインシュレーターをシリンダーヘッドに取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)



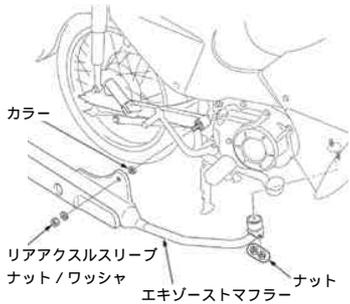
ボルト

インシュレーター / Oリング

(ノーマル) エキゾーストマフラーの取り付け

エキゾーストマフラーがノーマル品から変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。

・エキゾーストマフラーを取り付け、エキゾーストパイプ部のナット2個、リアアクスルスリーブナット / ワッシャを仮止めする。



カラー

リアアクスルスリーブ

ナット / ワッシャ

エキゾーストマフラー

ナット

・各部を規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
エキゾーストパイプ部のナット
：27 N・m (2.8 kgf・m)
リアアクスルスリーブナット
：59 N・m (6.0 kgf・m)

外装部品の取り付け

ホンダ純正サービスマニュアルを参考にしてカバー類を取り付ける。

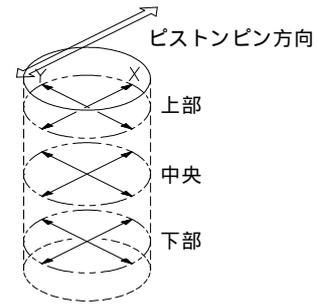
株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721 25 1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>

シリンダーボーリング加工について

弊社以外に加工を依頼される方へ

- ・キット内のピストンとのクリアランスが0.03mm～0.04mmになるようにシリンダーをボーリング、ホーニング加工して下さい。
- ・加工後、シリンダー内径を測定します。シリンダーの上部、中央、下部においてピストンピン方向(X軸)とピストンピンの直角方向(Y軸)の2方向、合計6箇所の内径を測定して下さい。これら6箇所の測定値の差が0.01mm以内であることを確認して下さい。



加工するとスリーブの肉厚が薄くなり、耐久性は低下します。クランクケースに差し込む部分のスリーブは特に落下等の損傷に十分注意して下さい。

弊社に加工を依頼される方へ

- ・住所、氏名、電話番号、車種、フレームナンバーを必ず明記の上にご同封下さい。
- ・必ず別紙の申し込み用紙に希望される加工を明記の上、同封下さい。(明記無き場合は、そのままご返送させて頂く可能性がございます。)
- ・送料はお客様負担です。
- ・弊社取扱車種に限らせて頂きます。
- ・弊社へご依頼される前に必ず下記作業を行って下さい。指示通りに作業が行なわれていない場合、未加工の上お客様負担で返品させていただく事があります。
- ・尚、加工時にシリンダースリーブ内径に巣等が発見された場合、弊社はその責任を負いません。ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、シリンダーを取り外して下さい。シリンダーに付いている油温センサー、レッグシールドステア、ガイドローラーボルトを全て取り外します。シリンダーに残ったシリンダーガスケットおよびシリンダーヘッドガスケットをスクレーパー等を用いてきれいに取り除いて下さい。シリンダーの汚れや、油分をきれいに取り除いて下さい。輸送中の破損等の防止のためシリンダーの周りをクッション性の良い物で覆ってから梱包して下さい。

ご注意

- ・クランクケースを加工されますとケースの肉厚が薄くなり、強度が落ちます取り扱いには、十分ご注意下さい。
- ・ご使用中におかれましても損傷する場合がございますがご了承下さい。如何なる場合におきましても弊社は一切の責任を負いません。

シリンダーボーリング加工依頼書

シリンダーボーリング加工を弊社へご依頼の場合は、本用紙に必要事項を記入して頂きシリンダーとピストンと本用紙を弊社までお送り下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 式川 行

お名前

ご住所

車種

フレームNo.

お支払い方法：代引・その他()

ご注意

送付に付いては弊社へ元払いをお願い致します。代引の場合、送料・手数料が別途必要となります。シリンダーのみの状態でお送り下さい。各付属部品は必ず取り外して下さい。パッキン等が残っていて前処理が必要な場合は、別途費用を頂きますのでご了承下さい。

品番	品名	定価(税込)
00 00 0414	シリンダーボーリング加工	¥12,600